

看護体験実習	1 年・後期	1 単位 40 時間	教授 箕輪 千佳 他
科目カテゴリ	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110561

1. 授業のねらい・概要

学生は、病院及び病棟内における看護活動や患者の療養環境・療養生活を概観することで、看護師の役割と実践及び療養する人々の生活を理解する機会とする。また、対象と関わる責任と態度について学習する。

2. 学修の到達目標

1. 地域の病院における看護の役割を述べることができる。(D-2)
2. 入院している患者の療養生活について述べることができる。(D-2)
3. 看護活動の見学や体験を通して、看護師の役割を述べることができる。(D-2)
4. 患者と良好な関係を築き、意図的コミュニケーションをとることができる。(D-2)
5. 看護学生として責任ある行動をとることができる。(D-1)

3. 授業の進め方

少人数のグループを組み、実習施設に分かれ実習を行なう。また、カンファレンスを通し、学びを共有し深めていく。実習での学びを記録し、自己省察する。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、事前学習型授業、議論型授業、体験型学習、リフレクション、レポートを用いる。

【ICT 活用の実施の有無】

ICT 活用の実施：Classroom 等による学習課題の提示、メールによる質問等の受付等。

4. 授業計画（実習/実技）

時 間	場 所	内 容	課題学習（時間）
1.5 時間	学内	実習オリエンテーション①	
1.5 時間	学内	実習オリエンテーション②	
9:00～16:00	学内	学内実習①	実習病院について 翌日の目標と行動計画（1）
9:00～16:00	病院	病院オリエンテーション	病院オリエンテーションでの学び整理 翌日の目標と行動計画（2）
9:00～16:00	病院	病院実習 1 日目	プロセスレコード作成 翌日の目標と行動計画（2）
9:00～16:00	病院	病院実習 2 日目	プロセスレコード作成 翌日の目標と行動計画（2）
9:00～16:00	学内	学内実習②	
1 時間	学内	知識評価試験	

5. 成績評価の方法・基準

実習内容（実習態度，実習内容および実習記録，レポート）90%，知識評価試験 10%を総合的に評価する。（実習要項を必ず参照すること）

評価対象は 5 分の 4 以上の出席した者かつ記録物の最終提出に期限内に提出した者である。

知識評価試験は，60 点以上を合格とする。

評価対象物は，「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を，ルーブリック評価表を基に，5 段階評価で採点する。

尚，ルーブリック評価表に関する詳細は，実習オリエンテーション内で別途説明する。

6. テキスト・参考文献

これまで基礎看護学で使用した教科書・資料を積極的に活用すること。

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

既習の知識・技術に関しては実習前に十分に自己学習・演習を行い，事前学習はノートにまとめる。

看護技術に関しては，指定した技術を 2 回以上自己練習することを病院実習参加の条件とする。

これらは延べ時間にすると 1 週間は必要なので計画的に学習すること。

8. 受講上の留意事項

本実習に関連したスケジュールには全て出席することを基本とする。

本実習の詳細については実習要項に記載されているので，熟読して実習に臨むこと。

常に相手の立場を考え，学ぶ者としての態度で，人間尊重，人権擁護，個人情報保護，安全への配慮等倫理面の配慮を十分に行い実習すること。実習共通要項に従った身だしなみ・準備・態度を実習参加の条件とする。

9. 課題に対するフィードバックの方法

実習開始前の学内オリエンテーション時に事前学習ノートを提出する。担当教員からの点検を受け必要なら追加修正する。技術の練習を行い担当教員からの指導を受け実習で実施できるようにする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目及び，2 年生後期の受け持ち看護実習の先修科目であるため，修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，実習の指導を行います。